

NAGASE

2010年(平成22年)3月期
第2四半期決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

2009年11月13日

◆ 目 次 ◆

- * 2010年3月期第2四半期の決算概況
- * 2010年3月期業績見通し
および中期経営計画「*CHANGE*”11」進捗
- * ナガセケムテックス(株)の環境・エネルギー事業への取組み

2010年3月期 第2四半期の決算概況

国内売上(467億円減 前年同期比78%)・海外売上(564億円減・前年同期比65%)ともに減少し、販売管理費が減少するものの営業利益で41%の減益。

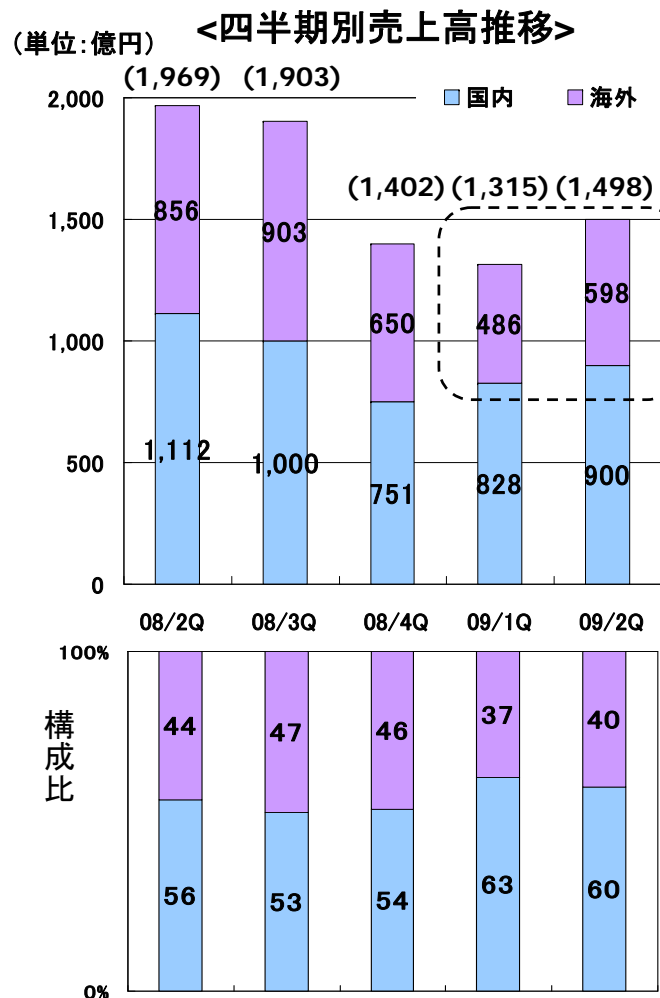
(単位:億円)

	09/09	08/09	増減	前年同期比	(参考) 7月時点見通し
売上高	2,813	3,846	▲1,032	73%	2,710
売上総利益	305	390	▲84	78%	295
販売管理費	▲253	▲301	+48	84%	▲255
営業利益	52	89	▲36	59%	40
経常利益	57	98	▲40	59%	44
純利益	30	57	▲26	54%	23
1株当たり四半期純利益	24円08銭	44円38銭	—	—	—
1株当たり配当金	7円	8円	▲1円	—	7円

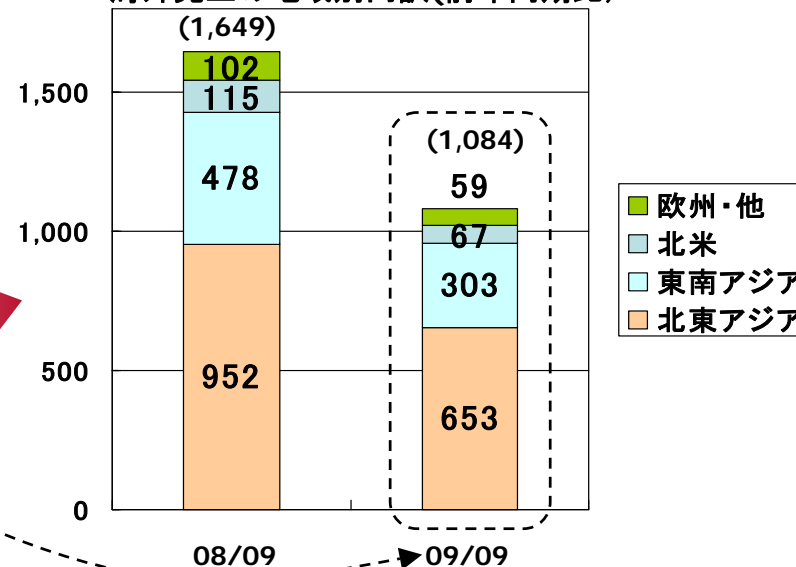
売上高2,813億円 前年同期比1,032億円減

(単位:億円)

うち国内売上467億円減 海外売上564億円減

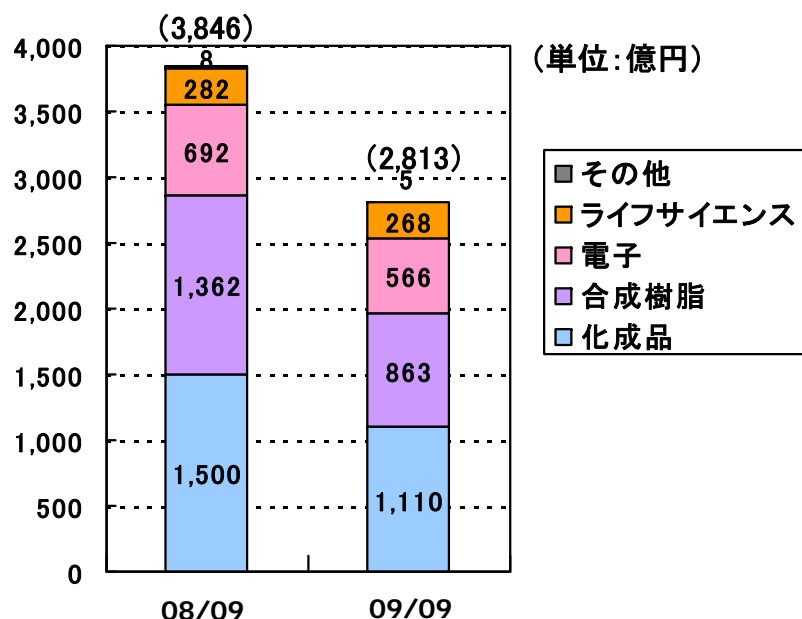


海外売上の地域別内訳(前年同期比)

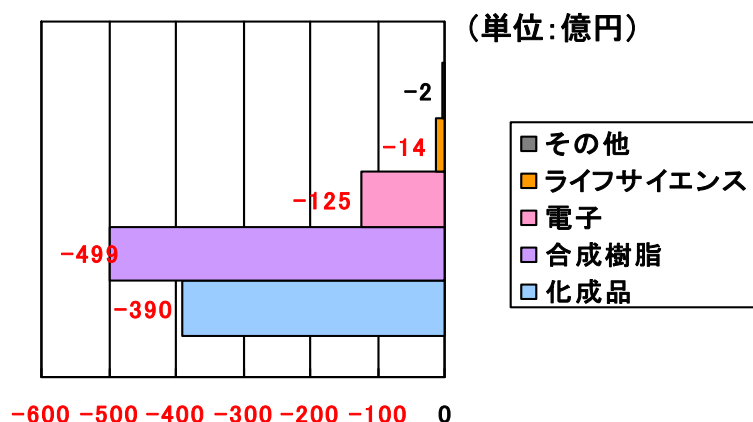


— 海外売上比率が減少 (42.9%→38.6%) —

- ・ 海外連結子会社は12月決算のため、売上減少のピークが実際と3ヶ月ずれている。なお、2Qの海外売上比率は1Q比で+3%上昇。
- ・ Gチャイナでは合成樹脂セグメント(OA・電子機器関連)が華東・華南地域ともに大幅売上減少。一方、華南地区の化粧品および華東地区の電子セグメントは堅調。
- ・ アセアンは売上減少著しく、化粧品・合成樹脂にて大幅減少。



売上高のセグメント別増減内訳



事業セグメント別の売上概況 (前年同期比較)

化成品 1,110億円 ▲ 390億円 (74%)

- 塗料原料・ウレタン原料、樹脂原料・添加剤等の機能化学用品事業は、需要回復基調だが、前年水準まで戻らず減収
- 有機合成原料のスペシャリティケミカル事業も同様に減収
- 機能性色素等の色材関連も減少

合成樹脂 863億円 ▲ 499億円 (63%)

- 国内では精密機器・電子機器用途や自動車用途で減収
- 海外での精密機器用樹脂はGチャイナ、アセアンでいずれも大幅減
- 建材不調、一方で機能性シート・フィルムは堅調

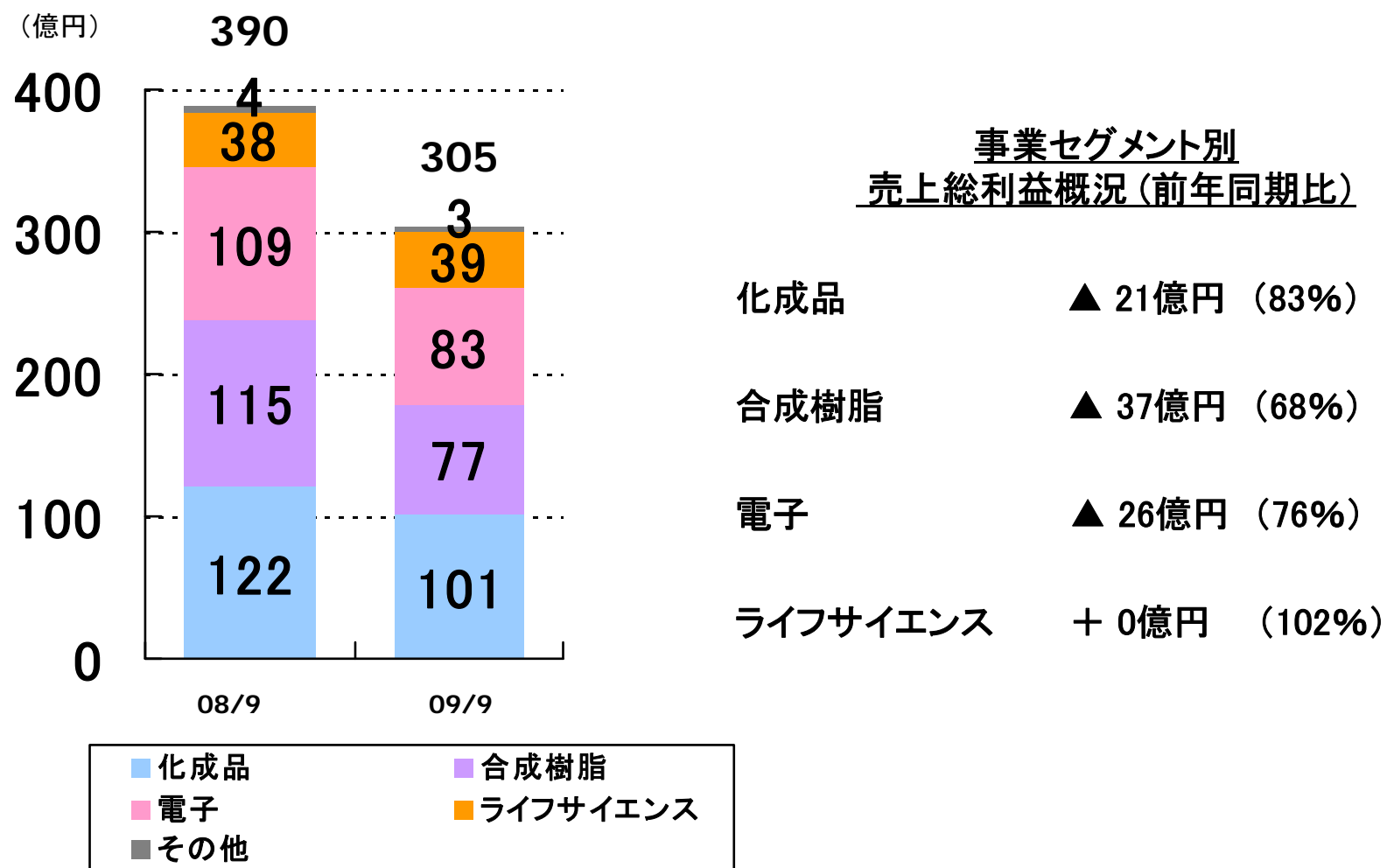
電子 566億円 ▲ 125億円 (82%)

- ディスプレイ関連の液晶用フィルムは前年同期並み、タッチパネル用部材は大幅伸長
- 精密研磨関連は、HDD向けは回復したもののシリコンウエハー用途は低調
- 半導体用薬液は稼働が戻らず低調の一方で、液晶製造用薬液は前年同期並み
- 変性エポキシ樹脂関連は重電・携帯電話向けは前年同期並みであったものの、自動車・弱電向けが振るわず、減収

ライフサイエンス 268億円 ▲ 14億円 (95%)

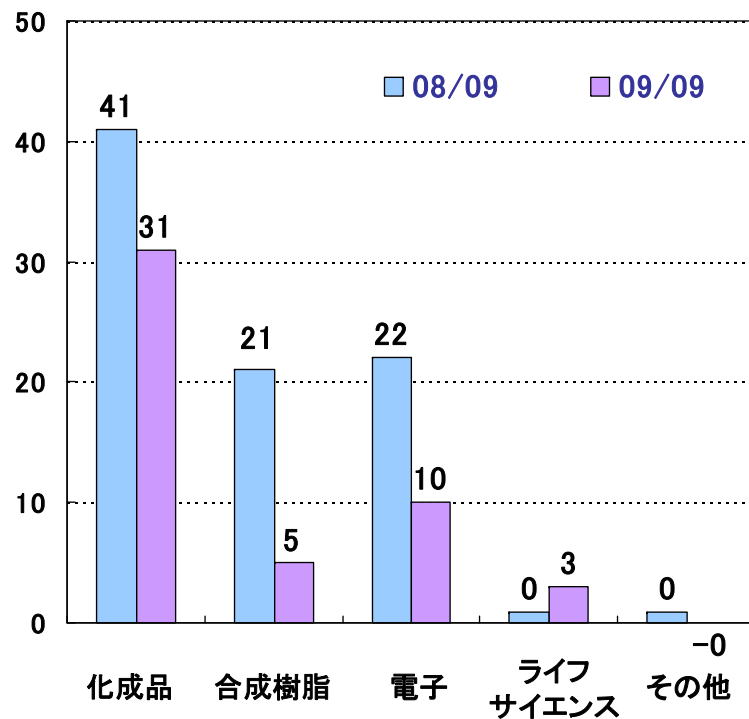
- 医薬中間体・農薬原料はともに微減
- 化粧品・健康食品は、前年同期並み

305億円 84億円減少 前年同期比 78%

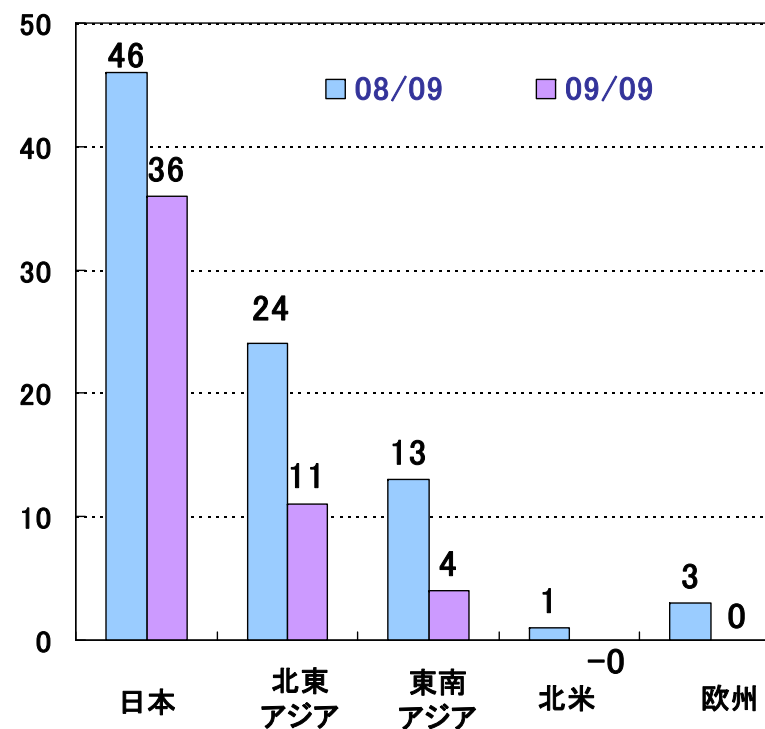


52億円 36億円減少 前年同期比59%

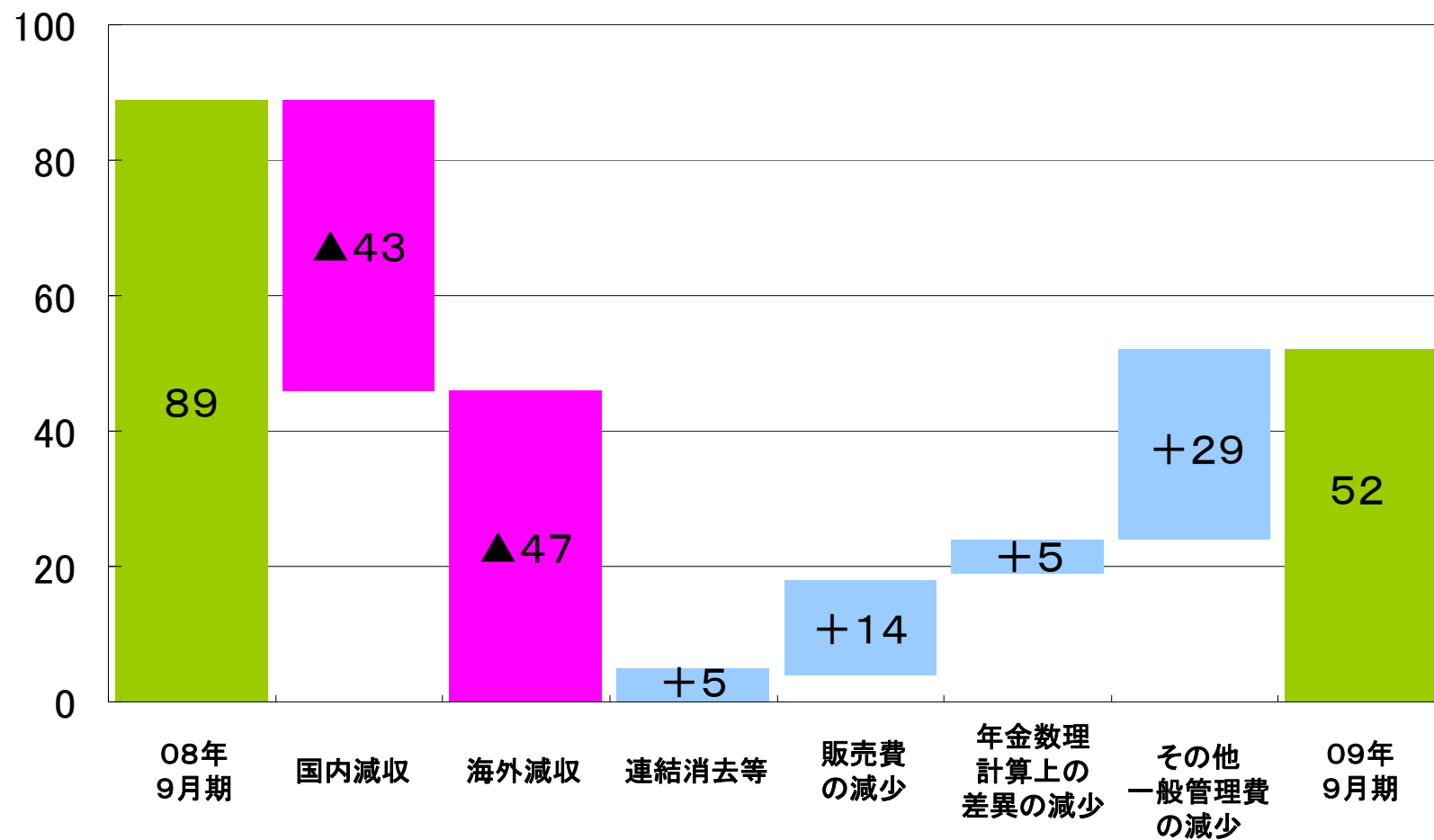
＜事業セグメント別営業利益＞



＜所在地セグメント別営業利益＞

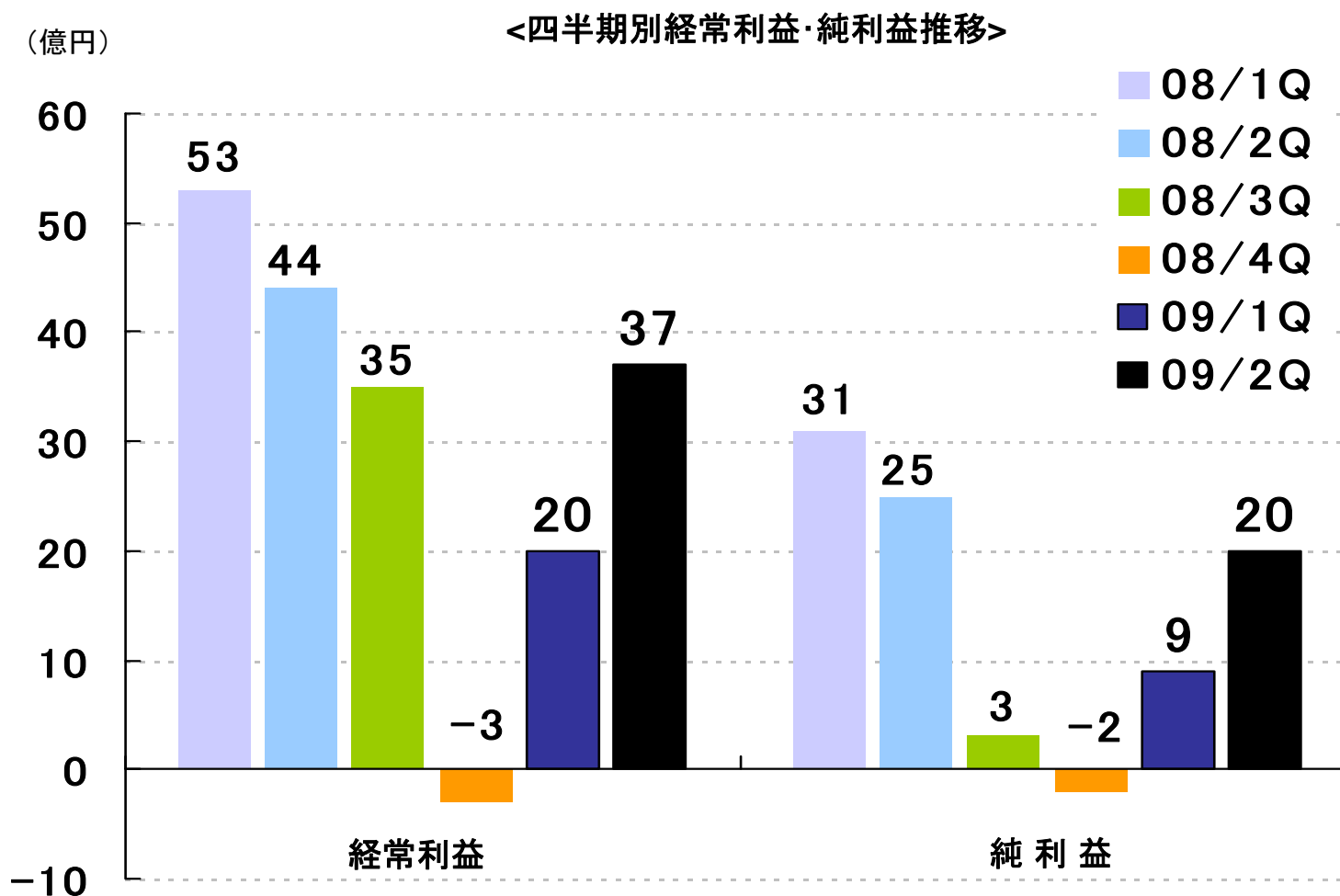


(億円)



(第2四半期累計) 經常利益 : 57億円 前年同期比59% 40億円減少

(第2四半期累計) 純利益 : 30億円 前年同期比54% 26億円減少



- ・運転資金減少(売上債権微増するも仕入債務増加・在庫減少が大きく、全体は減少)
- ・手元流動性資金積み増しによる有価証券(譲渡性預金)の増加
- ・投資有価証券の増加(株価上昇に伴う時価評価額の増加)
- ・有形固定資産の増加

(単位:億円)

《資産》	09/9	09/3	増減	《負債及び純資産》	09/9	09/3	増減
現金及び預金	271	261	+ 9	支払手形及び買掛金	984	900	+ 84
受取手形及び売掛金	1,696	1,663	+ 33	短期借入金	129	198	- 69
有価証券(譲渡性預金)	210	100	+ 110	その他流動負債	181	163	+ 17
棚卸資産	294	400	- 106	長期借入金	111	110	+ 1
その他流動資産	56	65	- 8	退職給付引当金	71	68	+ 2
有形固定資産	411	392	+ 19	その他固定負債	73	48	+ 24
無形固定資産	25	27	- 2	株主資本	1,846	1,826	+ 20
投資有価証券	531	435	+ 95	(うち自己株式)	(▲ 53)	(▲ 53)	(- 0)
その他固定資産	55	62	- 7	評価・換算差額等	80	19	+ 60
				新株予約権	2	2	-
				少数株主持分	71	70	+ 0
				(自己資本比率)	(54.2%)	(54.1%)	(+0.1%)
資産合計	3,552	3,409	+ 143	負債及び純資産合計	3,552	3,409	+ 143

- ・運転資金の減少により、営業キャッシュ・フローは254億円の収入
- ・有価証券、有形・無形の固定資産取得に伴い、投資活動によるキャッシュ・フローは154億円の支出

(単位:億円)

	09/09	主な内訳	08/09
営業活動による キャッシュ・フロー	254	税前利益 54億円 減価償却費 25億円 運転資金 175億円 法人税等の支払額 ▲13億円 その他 13億円	121
投資活動による キャッシュ・フロー	▲154	有価証券の取得 ▲100億円 有形固定資産の取得 ▲26億円 投資有価証券の取得 ▲24億円 その他 ▲4億円	▲62
財務活動による キャッシュ・フロー	▲84	短期借入金 ▲74億円 配当金の支払 ▲10億円	▲40
現金及び 現金同等物の増減	19		1
現金及び 現金同等物の期末残高	380	現預金271億円 有価証券110億円(譲渡性預金)	235

(単位:百万円)

	社名	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	純利益	前年同期比
単体	長瀬産業	198,675	75%	1,408	44%	3,002	63%
製造会社	ナガセケムテックス	12,301	91%	1,672	178%	940	165%
	東拓工業	3,292	96%	107	201%	102	123%
販売会社	ナガセプラスチック	7,214	96%	21	36%	7	19%
	長瀬カラーケミカル	6,341	84%	77	70%	52	77%
	ナガセケミカル	6,200	86%	90	81%	51	85%
海外	長瀬香港有限公司	25,898	71%	526	79%	429	83%
	ナガセシンガポール	10,043	60%	35	18%	87	50%
	ナガセタイランド	8,838	50%	218	33%	157	32%

2010年3月期業績見通し

(単位:億円)

	2010年3月期 (第2四半期 時点見通し)	2010年3月期 (7/30見通し)	7/30発表 との増減	09/03 実績	前期比
売上高	5,750	5,640	+110	7,152	81%
売上総利益	610	602	+8	715	85%
営業利益	100	84	+16	125	71%
経常利益	110	94	+16	130	84%
当期純利益	60	50	+10	58	103%
1株当たり年間配当金	14円	14円	0円	16円	-

(単位:億円)

	上期実績	下期予想	上期比	10/03 通期予想	前期比	09/03 実績
化成品	1,110	1,139	103%	2,250	86%	2,631
合成樹脂	863	956	111%	1,820	71%	2,558
電子	566	553	98%	1,120	82%	1,357
ライフサイエンス	268	281	105%	550	93%	589
その他	5	4	76%	10	63%	15
合計	2,813	2,936	104%	5,750	80%	7,152

中期経営計画「*CHANGE* 11」進捗

経営理念

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、
社員の福祉の向上と社会への貢献に寄与する

将来の目指す姿

（顧客に対して）

市場構造・環境の変化を先取りし、
独自のソリューションを提案すること
で顧客とともに発展する企業

（社員に対して）

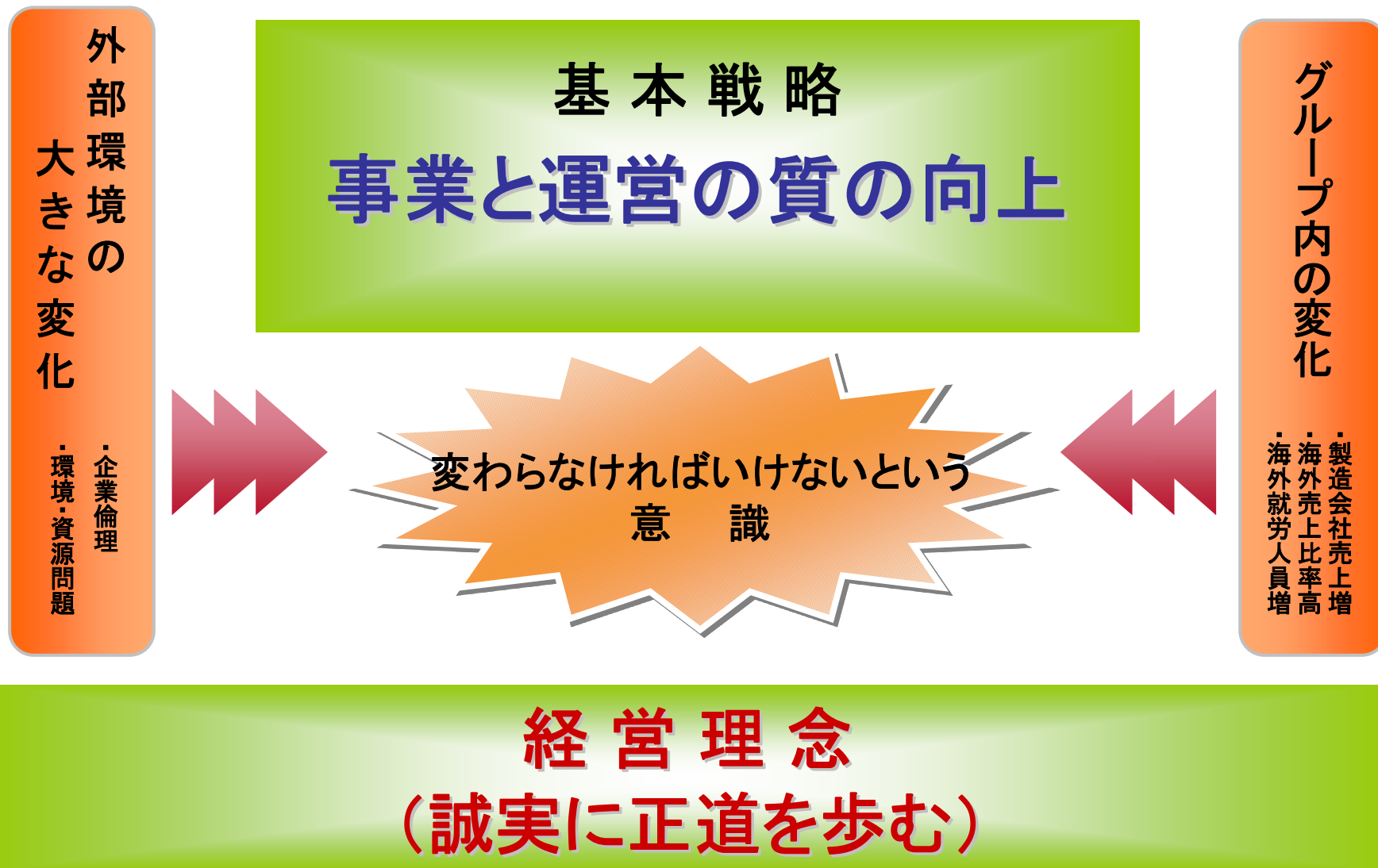
事業を通じて、夢と理想を
実現する場を提供する企業

（株主・投資家に対して）

技術を基盤として、強みを活かした
事業を中心に成長し価値を
高め続ける企業

（社会に対して）

社会に貢献し、地球環境に
寄与する企業



- 1 事業の選択と集中
- 2 環境・エネルギー関連技術の取り組み
- 3 研究・開発・製造機能の強化
- 4 グローバル化の推進
- 5 リスクマネジメントの強化
- 6 ダイバーシティの推進とワークライフバランスの支援

1 事業の選択と集中

- 木質複合素材事業、自動車金型事業、コネクタ成型事業 からの撤退
- カラーフォーマー製造会社への資本参加（カラーフォーマー事業競争力強化）

2 環境・エネルギー関連技術の取り組み

- リチウムバッテリーモジュール開発企業の買収
- シャープ堺工場リサイクルビジネス 改正産業活力法認定取得

3 研究・開発・製造機能の強化

- インド医薬中間体製造企業への資本参加
- 環境対応型エポキシ樹脂の開発

4 グローバル化の推進

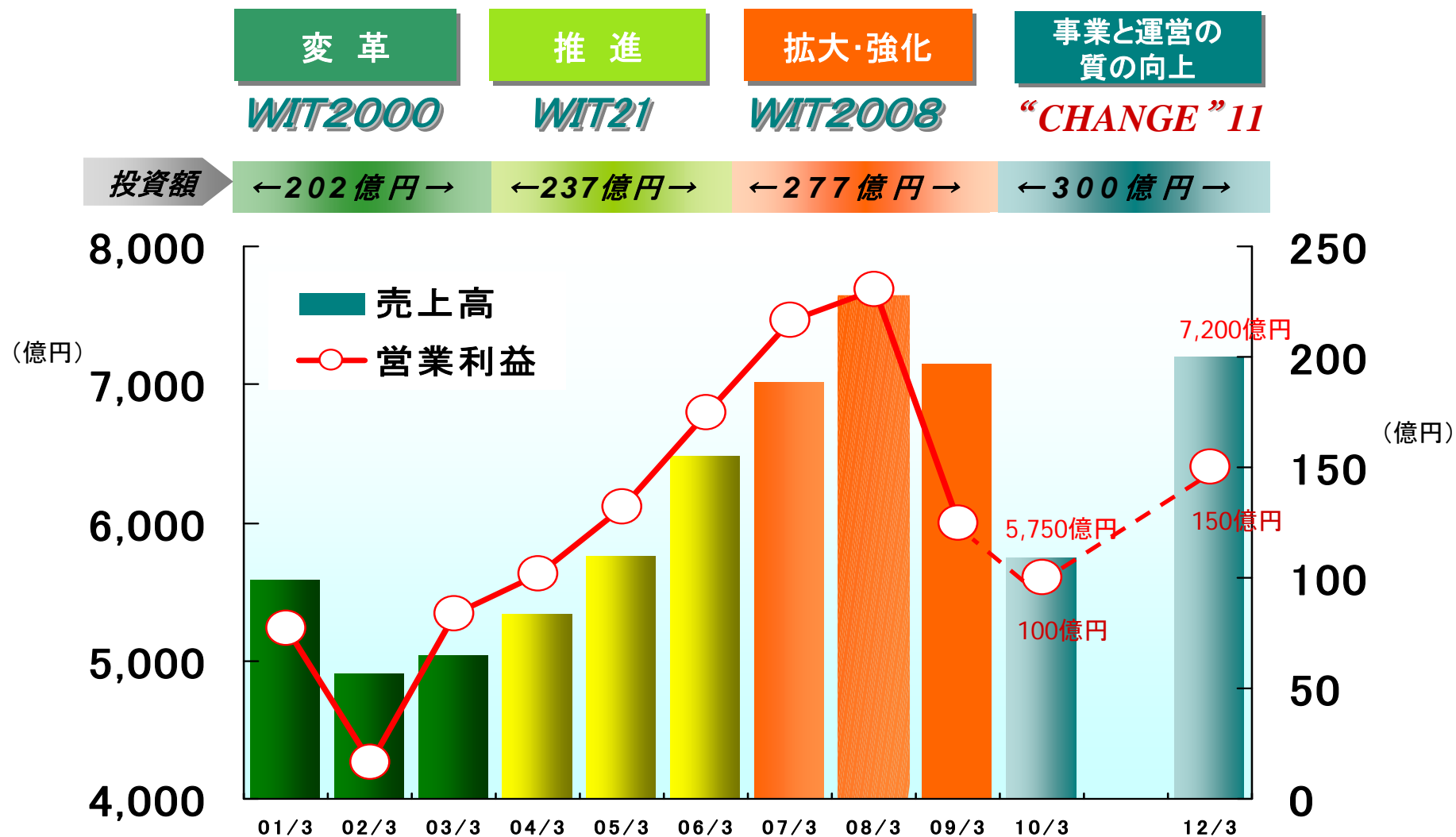
- ペトロラービグへの樹脂添加剤ビジネススタート
- ベトナム現地法人ビジネスライセンス拡大

5 リスクマネジメントの強化

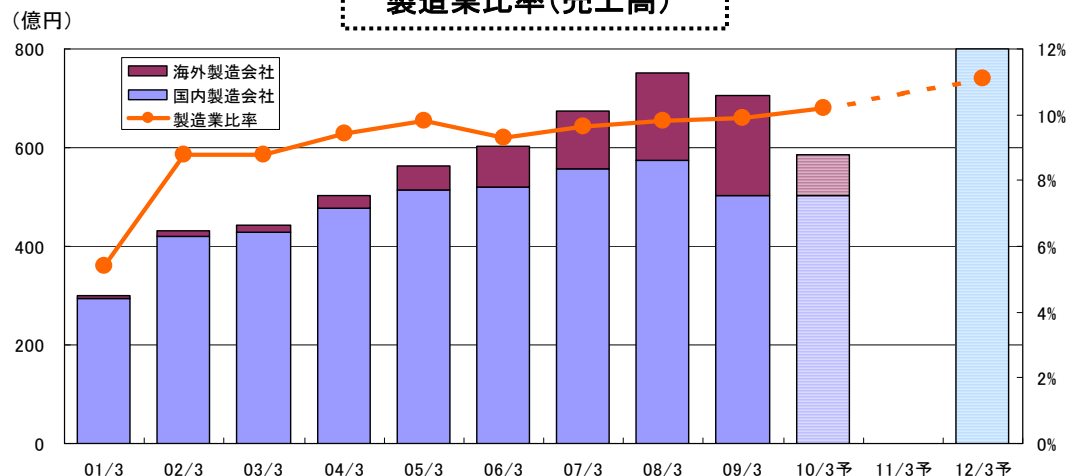
- ITのBCP(事業継続計画)策定
- 外為法改正(規制強化)に向けて社内ルールの策定

6 ダイバーシティの推進とワークライフバランスの支援

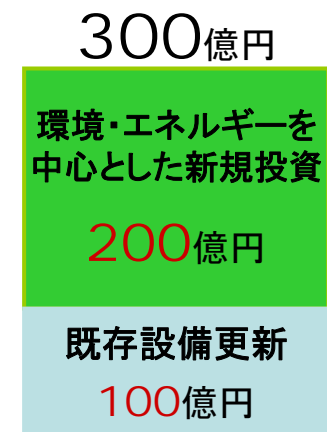
- ダイバーシティの定義・方向性・具体策を決定
- 男性社員も育児休業取得の対象に



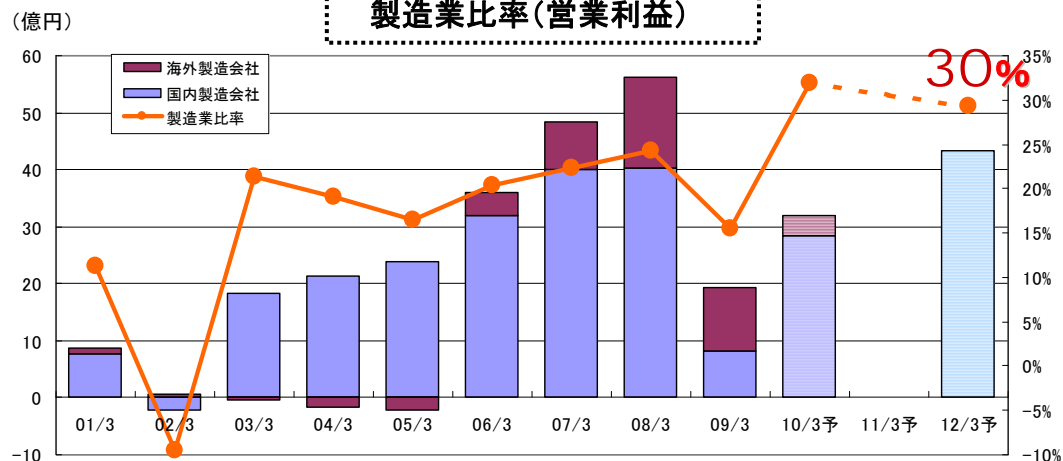
製造業比率(売上高)



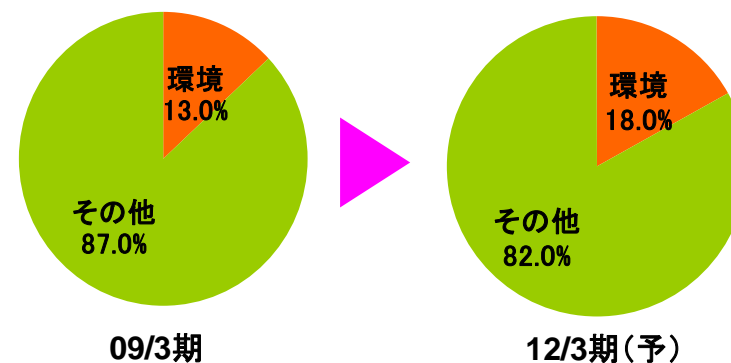
設備投資計画(3年間)



製造業比率(営業利益)



環境・エネルギー関連売上高比率



ナガセケムテックス(株)
=エポキシ樹脂による
環境・エネルギー事業への取組み=

長瀬産業(株)常務執行役員
ナガセケムテックス(株)代表取締役社長
毛利 充 邦

■4社統合：2001年4月

- ・ナガセグループの主要なケミカル製造会社が合併

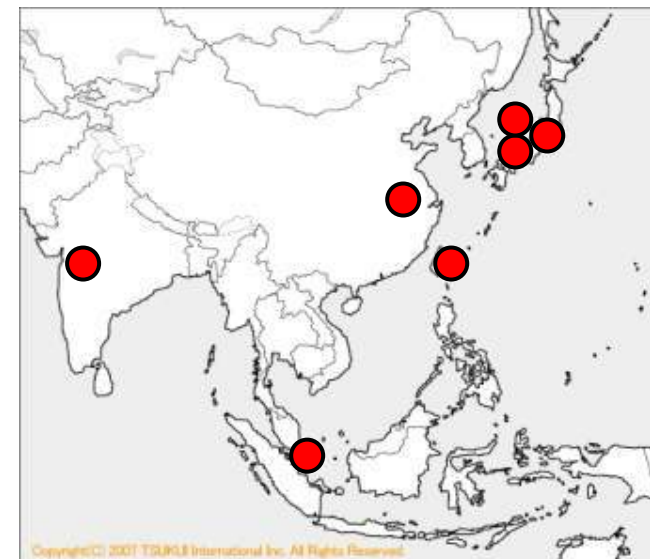
■有機合成・配合・変性・培養技術で高機能化学製品を創出

■ナガセグループ内の製造・研究開発機能の中心

■主な事業内容

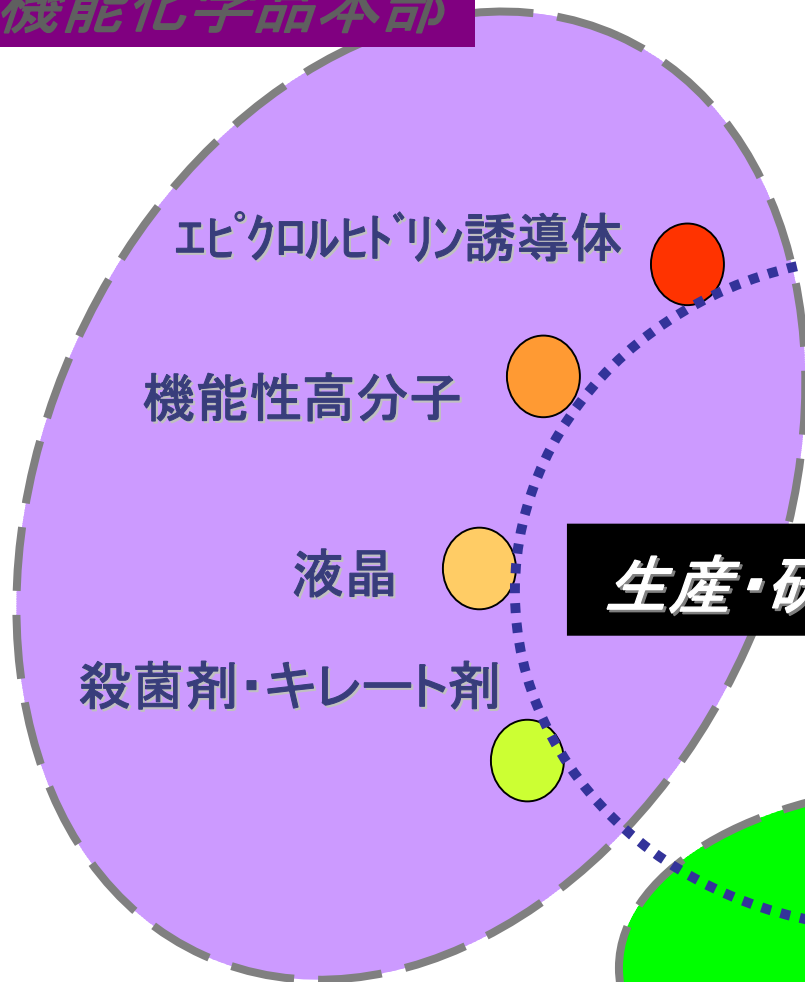
- ・製造拠点：播磨(兵庫県)、福知山(京都府)、堺(大阪府)、無錫(中国)、シンガポール
- ・事業分野：エレクトロニクス、ライフサイエンス、自動車、建築・住宅、他
- ・従業員数：約500名
- ・研究開発費：約15億円(08年度実績、売上比6.4%)

(百万円)

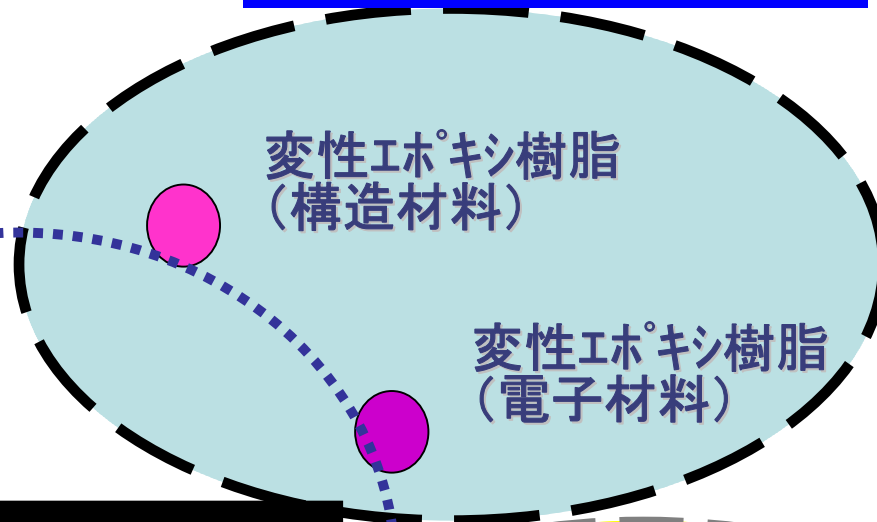


	2007年度実績	2008年度実績	2009年度予想
売上高	27,331	23,353	25,073
経常利益	3,036	952	2,231

機能化学品本部



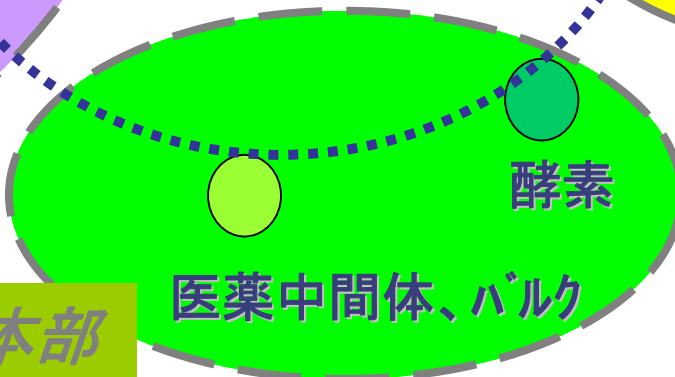
電子・構造材料本部



生産・研究開発・技術

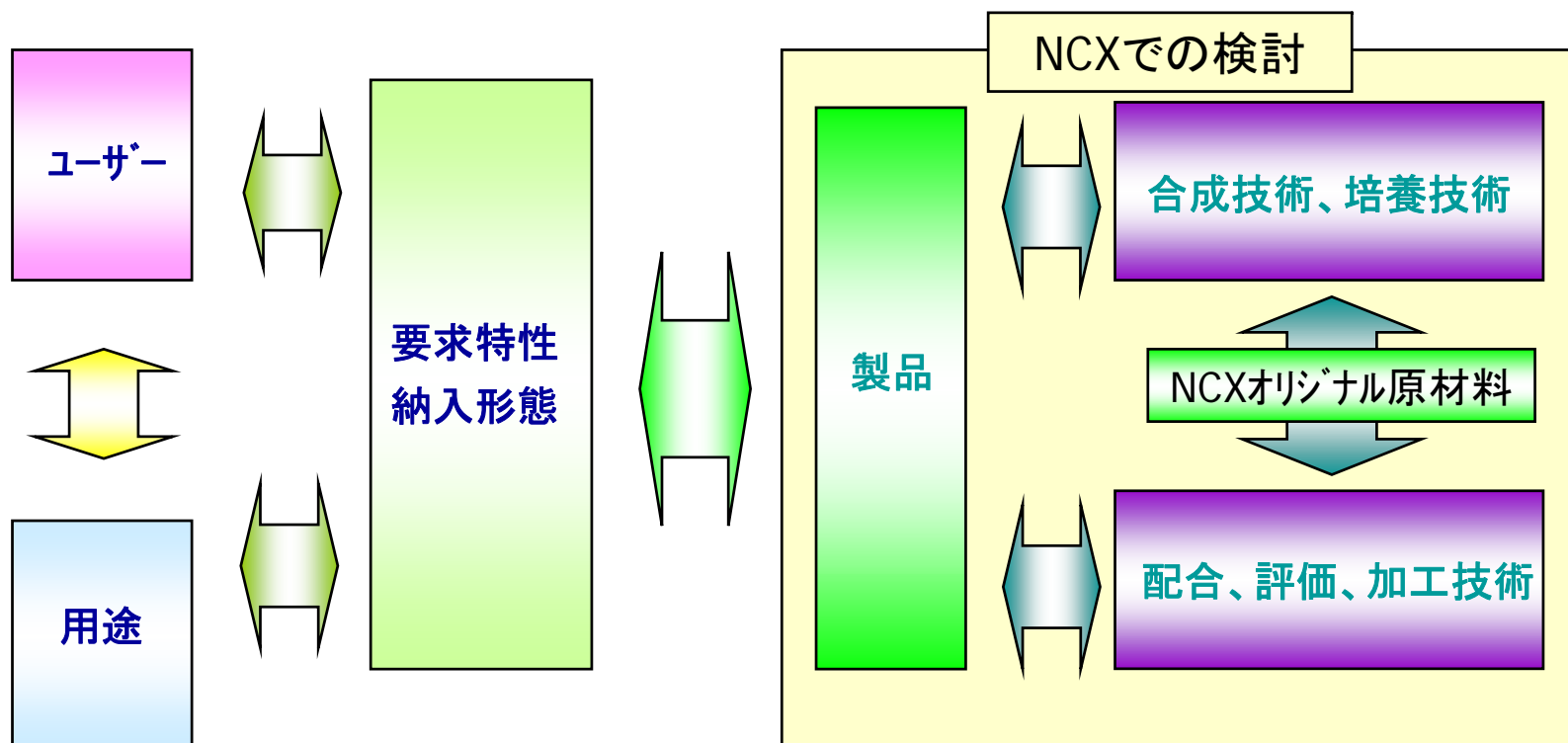
フォトリソグラフィ用薬品

電子化学品本部



生化学品本部

ユーザーニーズに対応した新製品開発



2011年度目標

新製品比率20%、環境対応品比率25%

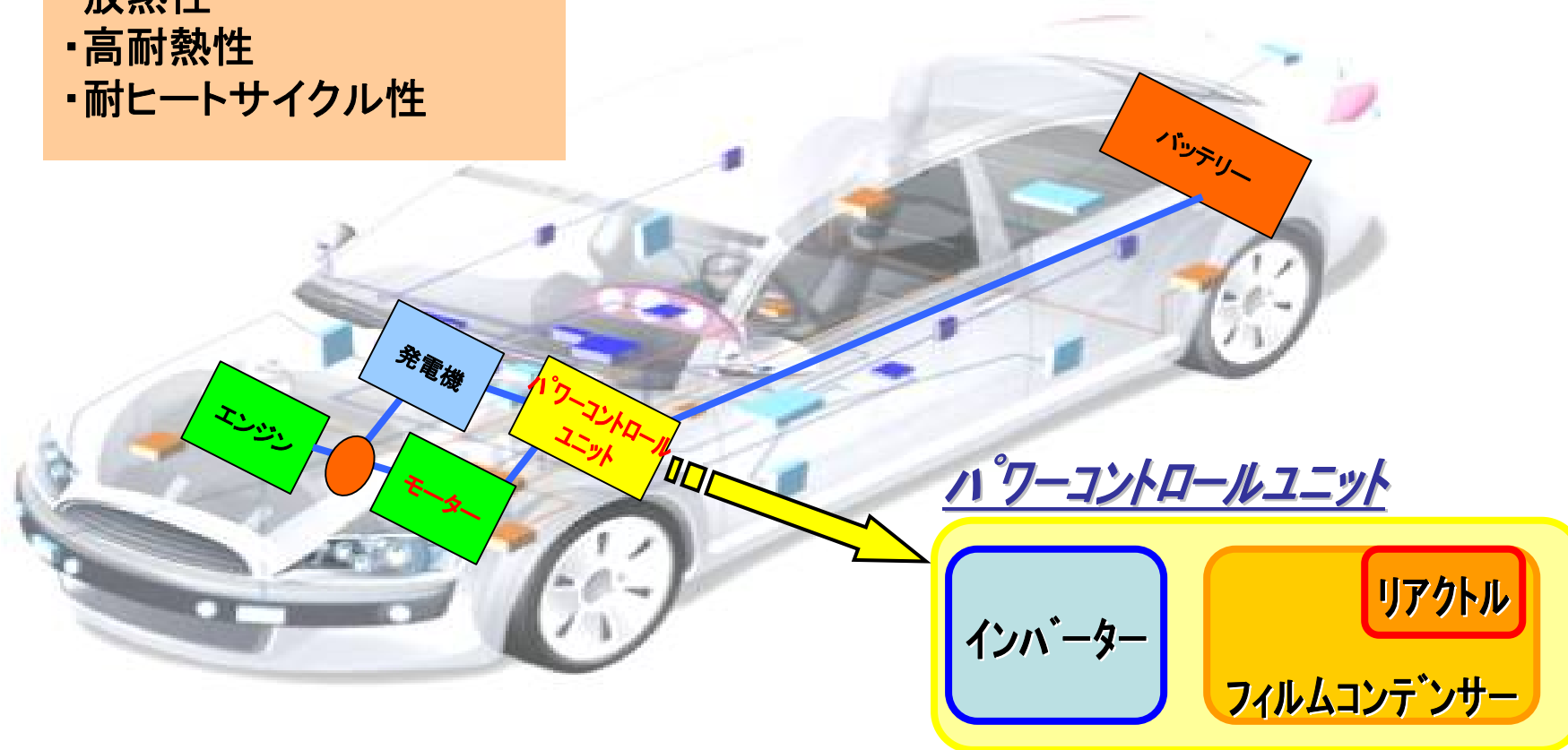
■基本戦略

- ◇ 環境エネルギー分野における次世代製品に不可欠な材料を開発する
- ◇ 特に軽量化、耐久性、リサイクル性、安全性を実現する



<要求特性>

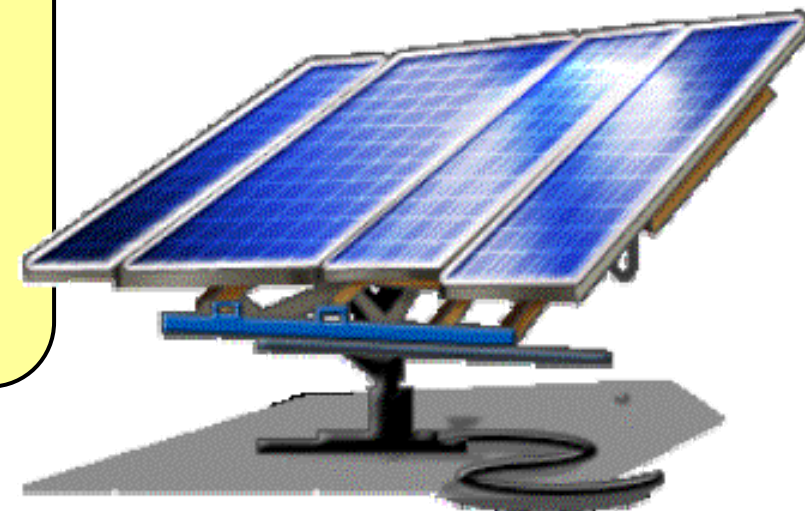
- ・放熱性
- ・高耐熱性
- ・耐ヒートサイクル性



モーター駆動用の電圧を上げる昇圧コンバータと、
バッテリーの直流をモーター駆動のための交流に
変換するインバータを組み合わせたもの

エポキシ樹脂が使用される部分

- ◇ CIGS*太陽光発電の基板絶縁
- ◇ CIGS*貫通電極の絶縁
- ◇ Si太陽電池シール剤



※ CIGS

Copper Indium Gallium DiSelenide
(従来のシリコン型ではなく、次世代の太陽電池)

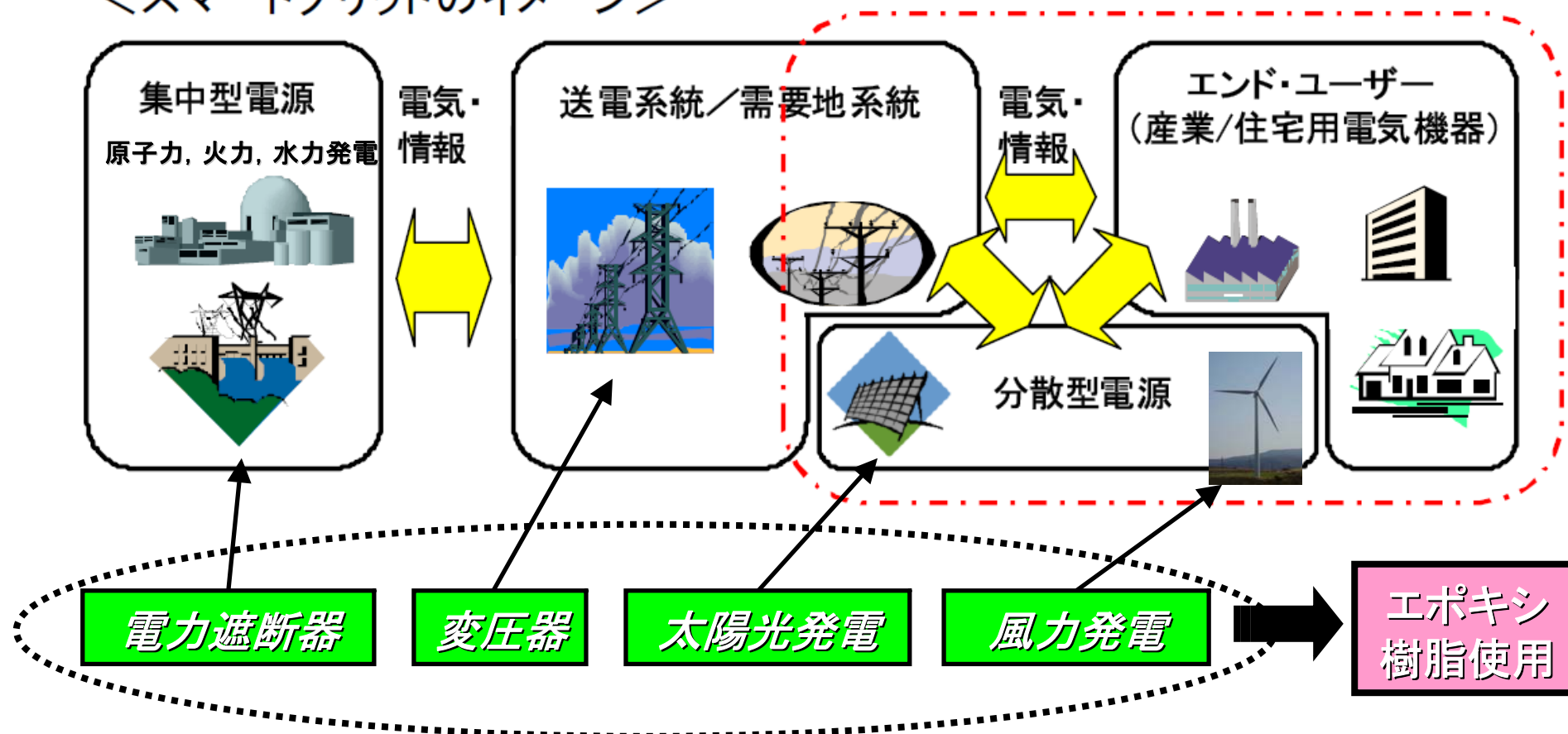
エポキシ樹脂が使用される部分

- ◇ 回転翼(FRP)用材料
- ◇ 成型用型材
- ◇ 接着剤など



<スマートグリッドのイメージ>

※経済産業省資料(低炭素電力供給システムに関する研究会 H21.2.24)より

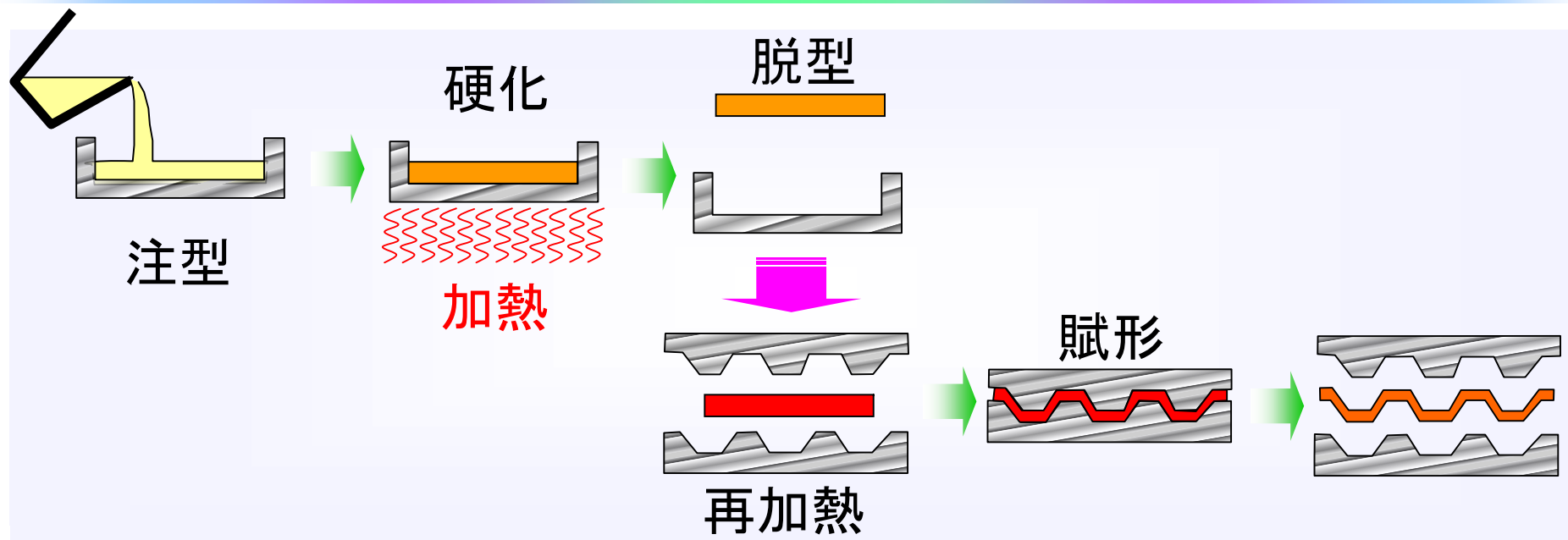


分散型電源(太陽光・風力発電)から安定的な送電を実現するには、**送電網の変圧器の増設、大型蓄電池の設置**が必要となる。資源エネルギー庁の「低炭素電力供給システムに関する研究会」は、「スマート・グリッド(賢い送電網)」の導入が不可欠としている

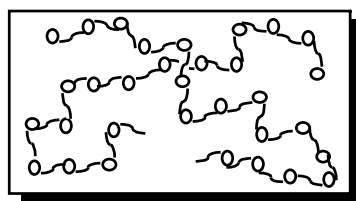
熱可塑性エポキシを利用した炭素繊維強化複合材料



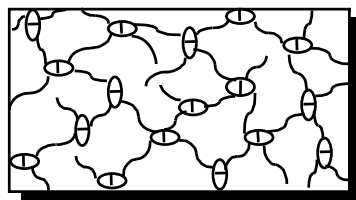
- ✧ CFRP成型後も再加工が可能
- ✧ 溶剤に可溶で、リサイクルが可能



低粘度液状
のモノマー



直鎖状
ポリマー



網目状
ポリマー

- リサイクル可能
- 再加工可能
- 溶剤に溶解
- 強靱



カーボン繊維への
含浸が容易

FRP成形



2次賦形



FRP成形後も2次賦形可能!!

特殊エポキシ樹脂

各国工業会で、電子回路材料のハロゲンフリー（900ppm以下）が規格化
～ 低塩素・塩素フリー（環境対応）のニーズが拡大 ～



新規開発
エピクロルヒドリン法
(低塩素合成法)

新製品

オレフィンの酸化法
(塩素フリー合成法)

◆ 独自のプロセス開発により、低塩素・塩素フリーエポキシ樹脂を品揃え

◇液晶製造用薬液のリサイクル・リユース・リデュース

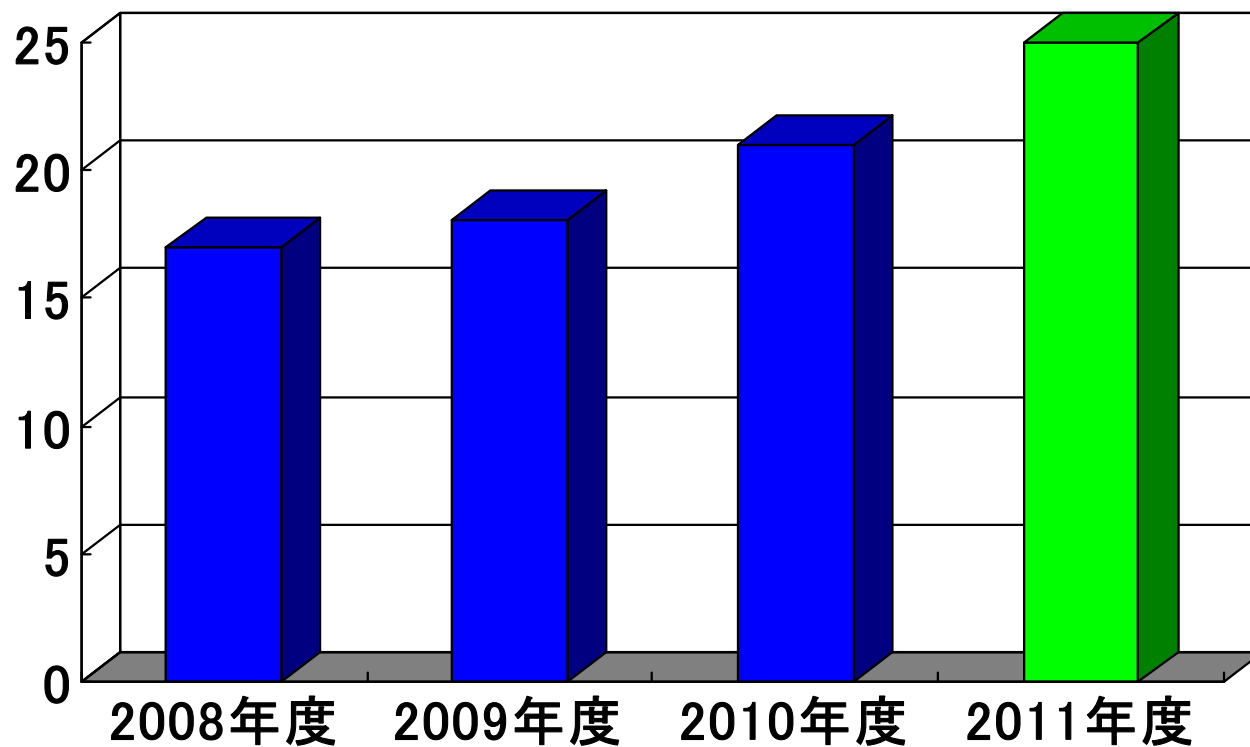


シャープ液晶コンビナート内、オンサイト工場において改正産業活力法による「資源生産性革新計画」の認定取得(H21年9月)

◇その他、酵素、農業用微生物、水処理関連製品など

環境対応品比率25% (2011年度目標)

(%) 環境・エネルギー事業売上シェア



知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2009年11月13日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。